

見守り機能付き
高機能エアマットレス

アメリア

【ハイブリッドタイプ】

取扱説明書

目次



注意事項P1
各部名称P2
設置方法P3
リモコン操作および機能説明P5
緊急時の対応方法P9
セルフチェックモード P10
フィルター交換方法 P11
停電時の使用 P11
電源コード・リモコンの収納方法 P12
運搬・保管方法 P12
お手入れ方法 P13
このようなときには P14
点検チェックシート P18
仕様 P19

安全にお使いいただくために

この度は当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前に取扱説明書を確認の上、正しくお使いください。確認後は、本取扱説明書を大切に保管してください。また患者様・入居者様の身体状況や環境が変化した場合には、医師または看護師などの医療従事者に相談し適切な処置を受けてください。

安全上の注意 必ずお守りください

①患者様・入居者様や他の人への危害・財産への損害などを未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

取扱説明書に表示されている記号や用語は、表示内容を見逃し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のような表示区分であらわしています。

⚠ 警告：死亡または重傷などを負う可能性を意味します。

⚠ 注意：障害を負うまたは物的損害を発生させる可能性を意味します。

注意：本製品の故障を防止するための注意事項や、より満足に使用していただくためのアドバイスを意味します。

②お守りいただく内容の種類を次の表示区分であらわしています。

⊘：してはいけない「禁止」を意味します。

Ⓢ：必ず実行していただく「強制」を意味します。

注意事項



警告 ※死亡または重傷などを負う可能性を意味します。

- ①使用中、体に異常を感じたり、不安を感じた場合には直ちに使用をやめ、医師や看護師、福祉用具専門相談員などの専門の方に相談してください。
- ②見守り機能は患者様・入居者様の離床などを見守るうえでの手助けをするものです。安全を保証するものではありませんのでご注意ください。また、患者様・入居者様の動きによっては見守り機能が感知しない場合がありますのでご注意ください。
- ③見守り機能を使用する場合は、設置後に必ず見守り機能を感じさせ、ナースコールで正しくお知らせされるか確認してから使用してください。
- ④安全のため必ずサイドレールを使用してください。
- ⑤マットレスは必ず頭側と足元側を確認し設置してください。また、マットレスの表と裏を逆にして使用しないでください。
音や振動が伝わり、寝心地を損なうおそれがあります。また、本来の性能が発揮されず、症状の悪化や思わぬ事故をまねくおそれがあります。
- ⑥本製品はリプレイメントタイプ（ベースマットレス不要）です。必ずベッドの上に直接設置してください。
- ⑦エアポンプやリモコンに水やその他液体をかけたり、濡れた手で触ったりしないでください。
感電や故障につながるおそれがあります。
- ⑧電源プラグは確実にコンセントに接続してください。
感電や火災につながるおそれがあります。
- ⑨電源プラグを濡らしたり、燃えやすい物を近くに置かないでください。
感電や火災につながるおそれがあります。
- ⑩電源コードを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。
感電や火災につながるおそれや故障の原因になります。
- ⑪電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。
感電や火災につながるおそれがあります。
- ⑫タコ足配線はしないでください。
故障や発熱による事故につながるおそれがあります。
- ⑬電源の電圧および許容電流値に注意してください。
本製品はAC100V、50/60Hz、13Wです。故障や発熱による事故につながるおそれがありますので、タコ足配線など許容を超える接続をしないでください。
- ⑭電源プラグやナースコールケーブルは確実に接続してください。
端座位のお知らせができず、転倒転落のおそれがあります。
- ⑮エアポンプやリモコンの改造はしないでください。
発火や異常動作などにより事故やケガをするおそれがあります。
- ⑯熱い物の近くに置かないでください。
火災・変形・破損につながるおそれがあります。
- ⑰長期間使用しない場合やエアポンプをお手入れする場合は、必ず電源プラグをコンセントから外してください。
感電・火災・故障の原因になります。
- ⑱患者様・入居者様周辺および取り付けあるコードやチューブなどにかまったり、引っ張られるような負荷が掛からないように十分注意してください。
- ⑲ベッドや機器類のキャスターなどで電源コードやリモコンコードがはさまれていないか、十分注意してください。
感電や火災につながるおそれや故障の原因になります。
- ⑳本来の目的以外に使用しないでください。
思わぬ事故やケガをまねくおそれがあります。
- ㉑サイドレールはマットレス上面より22cm以上高さがある物を使用してください。
サイドレールを乗り越えて転落するおそれがあります。



注意 ※障害を負うまたは物的損害を発生させる可能性を意味します。

- ①本製品の上に厚手のマットレスやパッドを使用しないでください。
本来の性能が発揮されず、思わぬ事故や故障の原因になります。
- ②マットレスとエアポンプに他の製品を組み合わせ使用しないでください。
本来の性能が発揮されず、思わぬ事故や故障の原因になります。
- ③リモコン操作は、看護する者が行ってください。
- ④むれ対策で多汗症（疾病により汗が多い）の方は、気化熱により体温が低下する場合がありますのでご注意ください。
むれ対策は、エアマットレス特有の弱点を対策するための製品仕様の一部で、温度調整機能や冷房機能ではありません。
- ⑤使用する室内環境（室温や湿度）や患者様・入居者様の体調・体質（汗や体温）の違いにより、寝床内温度が変化しますのでご注意ください。
- ⑥他の暖房器具を併用する場合は、やけどや低温やけどにご注意ください。

注意事項

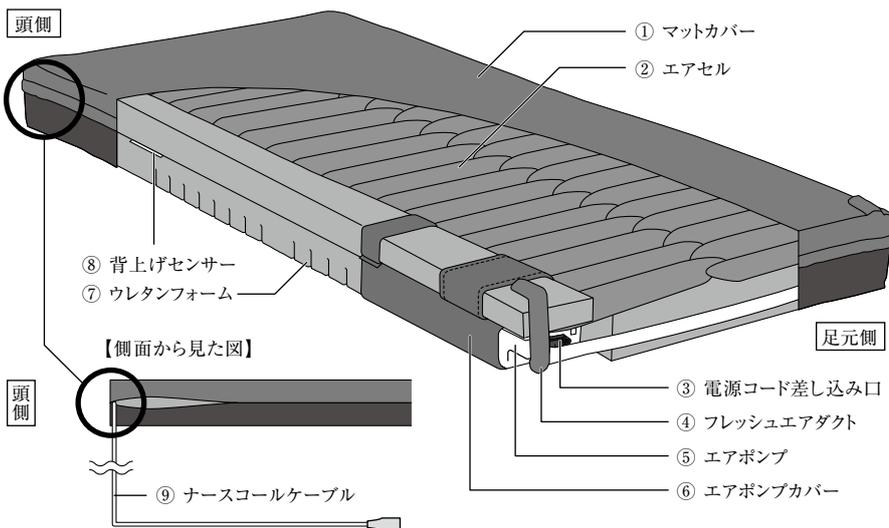
注意 ※本製品の故障を防止するための注意事項や、より満足に使用していただくためのアドバイスを意味します。

- ① マットレスを折り曲げた状態で保管しないでください。
ウレタンフォームが変形するおそれがあります。
- ② リモコンコードを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。
破損するおそれがあります。
- ③ リモコンを寝床の中に入れてください。
設定が変わってしまう場合があります。
- ④ 浴室付近や湿気の多い場所での使用および保管はしないでください。
サビ・カビの発生や故障の原因になります。
- ⑤ リモコンやマットレスを落下させたり、ぶつけたりしないでください。
エアポンプやリモコンの故障や損傷、寿命低下の原因になります。
- ⑥ マットレスの上や下に突起物を置かないでください。
マットカバーの破れなどの原因になります。
- ⑦ メンテナンス目的以外でマットレスを分解しないでください。
破損や故障などの原因になります。
- ⑧ マットレスへの荷重は150kgまでです。
150kgを超えると、マットレスの破損や故障の原因になります。
- ⑨ マットレスを持ち運ぶ場合や保管時には、電源コードとリモコンを電源コード・リモコン収納ポケットにおさめてください。
落下やほこり、静電気などにより故障するおそれがあります。
- ⑩ フィルター交換の目安は1年となります。
フィルターが目詰まりすると、エアポンプの性能が低下したり、寿命が短くなるおそれがあります。
- ⑪ リモコンのカバーを閉めた状態でも、上から強く押すと設定が変わる場合があります。
リモコンを寝床に入れたり、吊り下げた状態でケア時に押ししてしまうことが無いようにしてください。

各部名称

以下の部品が全てそろっているか、破損・変形などしていないかを確認してください。
万が一、部品の不足・破損があった場合は、(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご連絡ください。

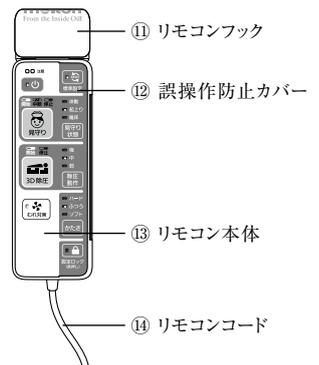
マットレス：1台



【電源コード・リモコン収納ポケットを取り付けた状態】



リモコン：1台



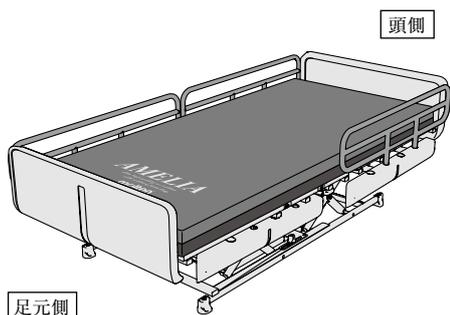
【付属品】



※2020年10月～2025年12月の製品にはインナー保護フィルムが標準装備されています。
ファスナーを開け閉めする場合は、インナー保護フィルムを挟み込まないよう注意してください。

設置方法

1 マットレス(エアポンプ内蔵)を設置します。



ベッドの上に直接マットレスを置いてください。

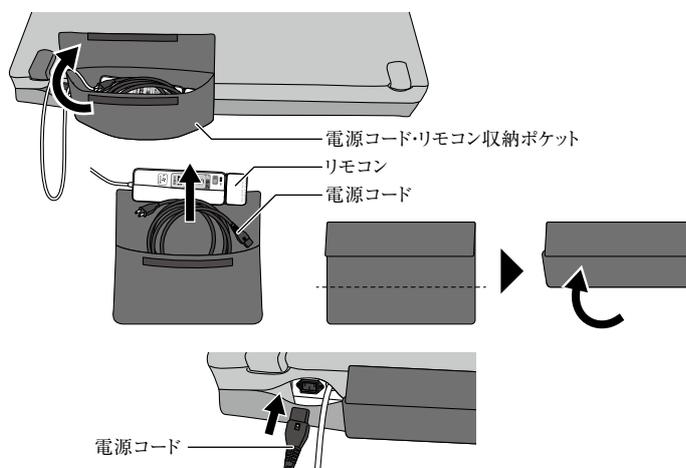


警告

- ①安全のため必ずサイドレールを使用してください。
- ②マットレスは必ず頭側と足元側を確認し設置してください。また、マットレスの表と裏を逆にして使用しないでください。音や振動が伝わり、寝心地を損なうおそれがあります。また、本来の性能が発揮されず、症状の悪化や思わぬ事故をまねくおそれがあります。
- ③本製品はリプレースメントタイプ(ベースマットレス不要)です。必ずベッドの上に直接設置してください。

2 電源コード・リモコンを収納ポケットから取り出します。

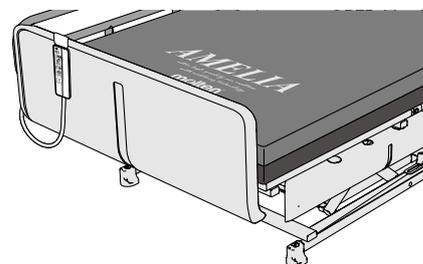
- ①電源コード・リモコン収納ポケットから電源コードとリモコンを取り出してください。
- ②取り出した後は、電源コード・リモコン収納ポケットを図のように折りたたんでください。
※電源コード・リモコン収納ポケットは、紛失しないためにもマットカバーから取り外さず使用してください。
- ③マットカバーを10cmほど開き、電源コードをポンプ接続部へ接続してください。
- ④マットカバーを閉めてください。



3 リモコンをフットボードに掛けます。

リモコン上部のリモコンフックを、ベッドのフットボードに掛けてください。

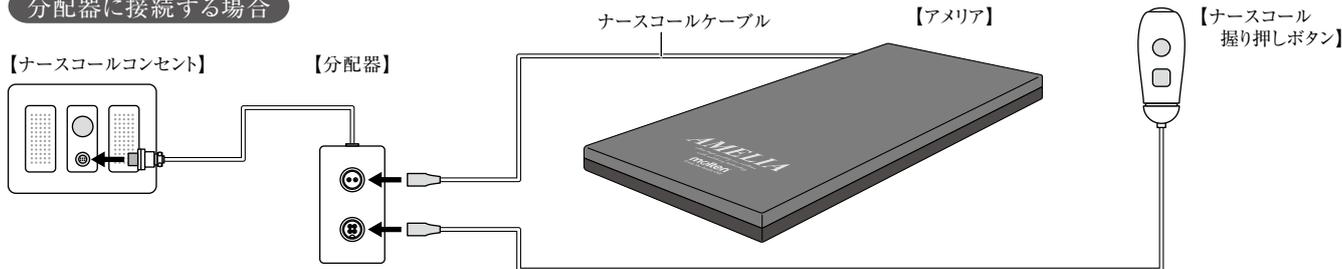
注意 リモコンを寝床の中に入れてください。
設定が変わってしまう場合があります。



4 ナースコールに接続します。

- ①準備した分配器およびナースコールコンセントの接続プラグの種類を確認してください。
※アメリカのナースコールケーブルの接続プラグは14型2Pです。
- ②ナースコールケーブルを準備した分配器の所定の位置へ接続してください。

分配器に接続する場合

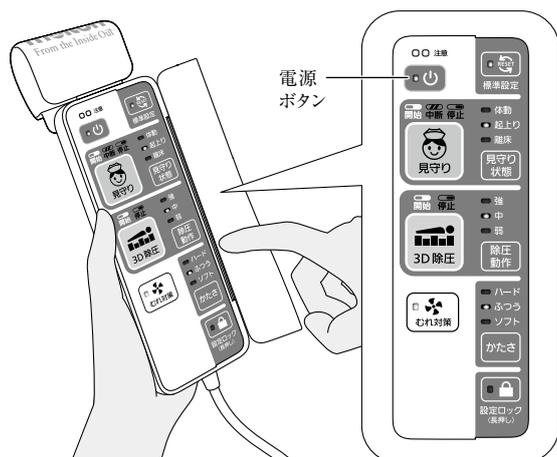


警告

各接続プラグは接続口に対し、まっすぐ確実に挿し込んでください。接続不良の原因となり、正しくナースコールでお知らせできなくなる可能性があります。

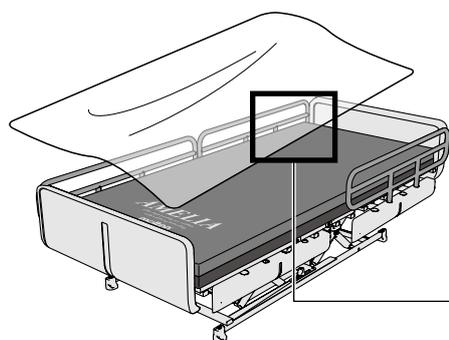
設置方法

5 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れてください。

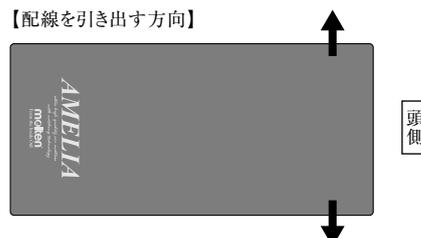
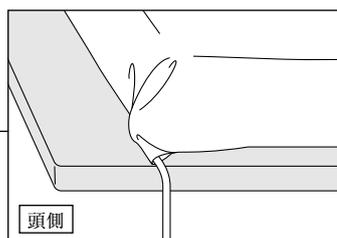


- ① 電源プラグをコンセントに差し込み、リモコン上面の誤操作防止カバーを開き、電源ボタンを押してください。
- ② リモコンの「標準設定」ボタンを押し、マットスを最適な状態に自動設定します。
※詳しい設定方法はP5を参照してください。
※エアセルは約8分で空気がいっぱいになります。
- ③ 使用中は必ず電源プラグをコンセントに差したままにしておいてください。

6 シーツの取り付け



電源コードおよびナースコールケーブルはマットスの頭側端部から側面方向へ出るようにシーツを取り付けてください。
ベッドフレームやサイドレールなどに挟みこまれないように床へ配線してください。
※配線を引き出す方向は、見守りセンサーを内蔵しているインナーマットの中央部を基準に決めます。



- 基準シーツ……………フレッシュエアダクトごと覆い、シーツの端を巻き込んでください。
ボックスシーツ……………フレッシュエアダクトごとマットレス全体を包み込むようにかぶせてください。
防水シーツ……………フレッシュエアダクトを覆わないように取り付けてください。
フレッシュエアダクトから空気が出ず、送風機能が発揮されません。



警告

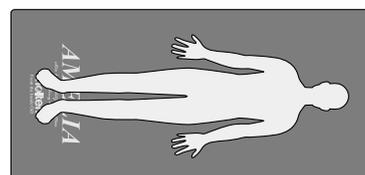
- ① ナースコールケーブルを出す頭側はシーツを三角折りにせず取り付けてください。
- ② 配線後に必ずベッドの背上げ動作をおこない、ナースコールケーブルがベッド稼働時にフレームやサイドレールに引っ掛かったり、はさみ込まれたり、引っ張られていないか確認してください。
- ③ センサー範囲表示の周りには、硬い防水シートやクッションなどを設置しないでください。見守りセンサーが感知できないおそれがあります。
- ④ ナースコールケーブルが患者様・入居者様周辺および取り付けであるコードや点滴チューブなどに、からまないよう十分注意してください。思わぬ事故やケガをまねくおそれがあります。

注意

シーツの取り付けで「ピン」と張りすぎると、本来の性能が発揮されない場合がありますので、注意してください。

7 患者様・入居者様に寝ていただけます。

十分に性能を発揮させるため、マットレスの中央部に寝てください。



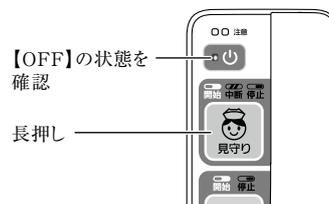
設置方法

8 受信状態の確認

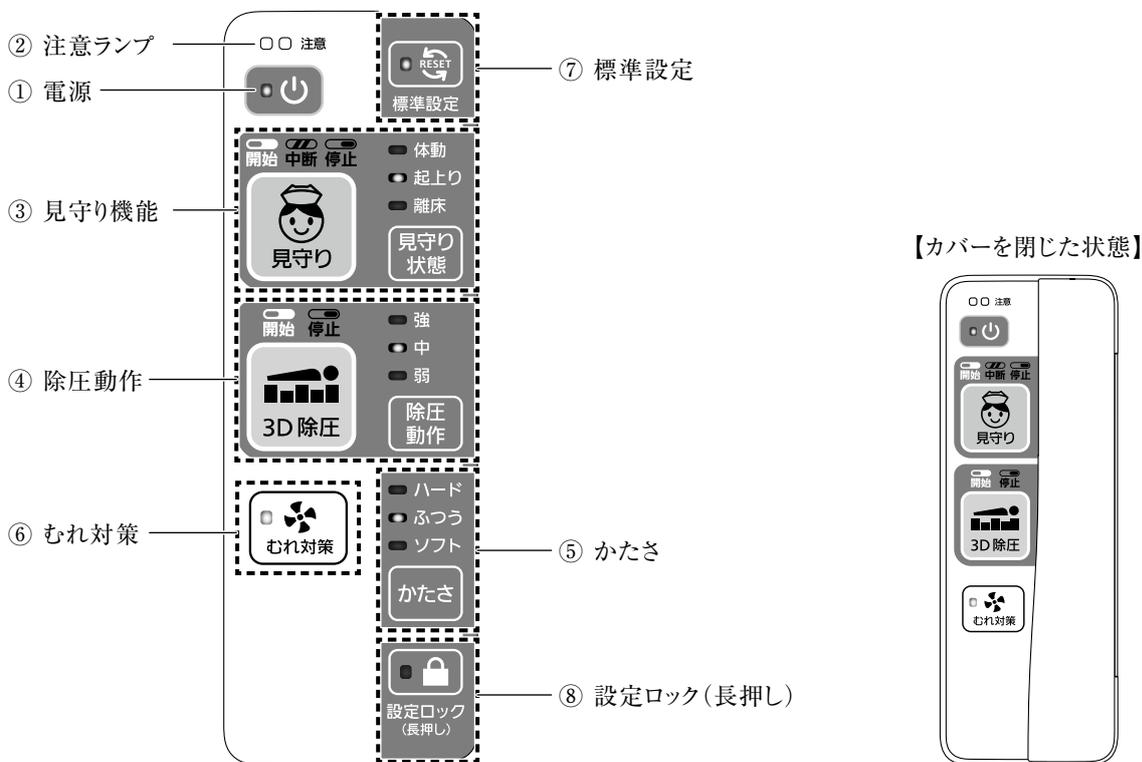
使用前に必ず全てのナースコールで確認を行ってください。

マットレスのリモコンの電源を【OFF】の状態で見守りボタンを長押しします。ナースコールがお知らせするのを確認してください。

※信号発進時は注意ランプが点灯します。



リモコン操作および機能説明



使い始める前に

① 電源



電源ボタンを押すと電源が入り、リモコン各部のLEDランプが点灯します。
もう一度押すと電源は切れます。

※再度電源を入れ直した場合は、前回の設定状態となります。停電の場合も同様に、停電前の設定状態になります。

② 注意ランプ



マットレスとエアポンプの異常をLEDランプの点滅でお知らせします。(P15、P16参照)
また、同時にナースコールにもお知らせします。

リモコン操作および機能説明

見守り機能

③ 見守り機能



マットレスにセンサーを内蔵し、夜間の患者様・入居者様の起き上がりやベッドからのずり落ち（転落の可能性）を感知すると、リモコンの【開始】と選択した【見守り状態】のLEDランプが点滅し、ナースコールを通じてお知らせします。

見守り機能は3段階で設定が可能です。

また、ケア時にはボタンを押すだけで機能の一時停止ができます。

ボタンを押すごとに【開始】→【中断】→【開始】と切り替わります。

ボタンを長押しすると【停止】に切り替わります。

※体重が30kg以下や体形によってセンサーが感知しない場合があります。

※見守り機能は、お知らせすると2分間はセンサーが【OFF】の状態（準備状態）になります。



見守り機能が【ON】の状態になります。



一時的に見守り機能が【OFF】の状態になり（約15分間）、【中断】LEDが点滅（点灯2秒→消灯1秒の繰り返し）します。15分経過すると、自動的に【ON】の状態に復帰し、【開始】が点灯します。また、【中断】時のマットレスは除圧動作を停止し、自動的にかための静止型になります。（ケアモード）



ボタンを2秒間長押しすると見守り機能が【OFF】の状態になります。再度ボタンを押すと【ON】の状態に戻り、【開始】が点灯します。

【見守り状態】の表示

高
↑
センサー感度
↓
低



苦しさなどによる大きな体動でセンサーが感知し、お知らせをします。センサーは感知して5秒以内でお知らせします。※体重が30kg以下や動作によっては、センサーが感知しない場合があります。



起き上がりや寝返りなどの動作でセンサーが感知し、お知らせをします。センサーは感知して20秒以内でお知らせします。※体重が30kg以下や動作によっては、センサーが感知しない場合があります。



離床やベッドからのずり落ちなどをセンサーが感知し、お知らせをします。センサーは感知して30秒以内でお知らせします。※体重が30kg以下や動作によっては、センサーが感知しない場合があります。

見守り機能は患者様・入居者様の体重・体形、動きによってセンサーが感知する・感知しない場合があります。

設定でのお知らせで鳴りすぎの場合は、感度を弱く、鳴らない場合は、感度を強くして見守り状態を選択してください。



警告

見守り機能は患者様・入居者様の離床などを見守るうえでの手助けをするものです。安全を保証するものではありませんのでご注意ください。

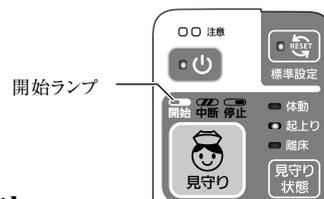
見守り機能の準備状態について

見守り機能は、以下の状況で準備状態になり、見守り機能が一時的に作動しなくなることがあります。見守り機能が準備状態になっているときは、リモコンの【開始】ランプがゆっくり点滅（2秒点灯、1秒消灯の繰り返し）でお知らせします。

【見守り機能が準備状態になる状況】

- 電源を入れてからエアセルが膨らむまで〈最大10分程度〉
- 【かたさ】【除圧動作】の設定を変更した場合〈5分程度〉
- ベッドの背上げ・背下げ動作を行ったとき〈5分程度〉
- 見守り機能がお知らせした後〈2分程度〉

など



【見守り機能の状態表示】

準備中	作動中	お知らせ時
<p>ゆっくり点滅</p>	<p>点灯</p>	<p>はやく点滅（20秒間）</p>

※ゆっくり点滅：2秒点灯と1秒消灯の繰り返し

リモコン操作および機能説明

除圧動作／かたさ

④ 除圧動作



3D 除圧

独自構造のエアセルで寝心地を損なわず、全方向(たて、よこ、傾き方向)から除圧を行いながら患者様・入居者様の身体を優しく傾けます。

ボタンを押すごとに【開始】→【停止】と切り替わります。

※身体の傾きは体重や体型、寝る位置で変わる場合があります。



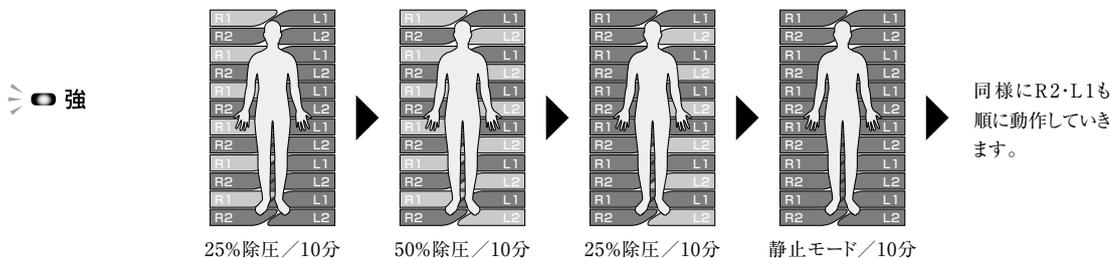
マットレスが除圧動作を行います。



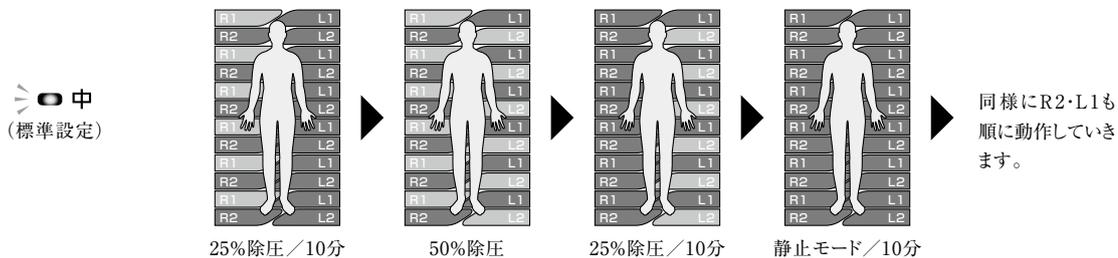
マットレスが除圧動作を停止して静止型になり均等なかたさになります。

【除圧動作】の設定

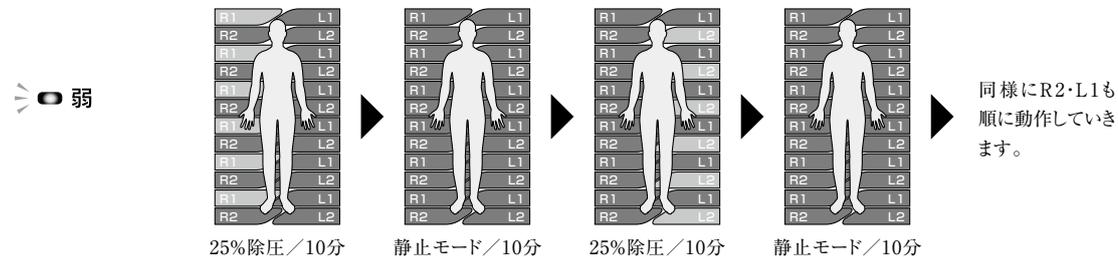
圧切替で除圧をしっかり行いたい方はこちらを選択してください。
身体を50%除圧する時間が10分間あります。



身体を50%除圧する時間が短く、25%除圧する時間が10分間あります。安定感と圧切替の除圧のバランスが良い設定です。



安定感を重視して圧切替の除圧を行いたい方はこちらを選択ください。
身体を25%除圧する時間が10分間あります。

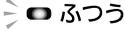
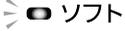


リモコン操作および機能説明

⑤ かたさ

かたさ

マットレスのかたさ設定を行います。

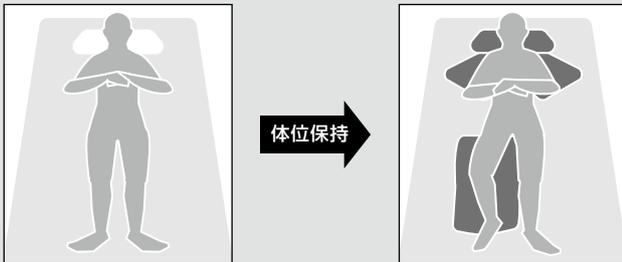
-  **ハード** 離床やリハビリで安定感が必要な方や、やわらかすぎるマットレスが合わない方などはこちらを選択してください。
-  **ふつう** 各種臥位において低圧で身体を保持します。(標準設定)
-  **ソフト** ふつうよりもさらに低圧で身体を保持します。

●設定のポイント

拘縮や変形がある人は、体圧分散を向上するために、ポジショニングクッションによる体位保持が必要です。

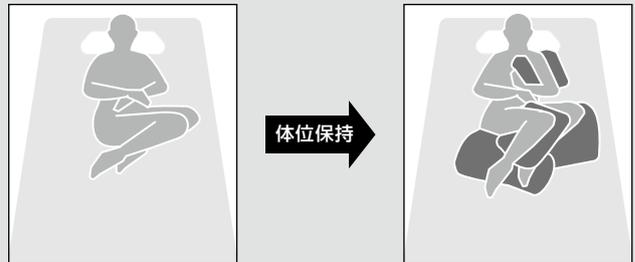
その場合は、**かたさ**【ふつう】または【ハード】、【停止】または【弱】に設定することで、安定して体位保持しやすくなります。

事例①【円背と右ひざ拘縮の利用者様】



- ①左右両方の肩の下に入れます。
- ②頭部から頸部の下に入れます。
- ③右ひざの下に入れます。

事例②【上肢下肢拘縮と体軸ねじれの利用者様】



- ①左腕の下と胸との間に入れます。
- ②ねじれを戻す方向に、左脚の下に入れます。
- ③右脚の下に入れます。
- ④左脚と右脚の間に入れます。

●ポジショニングのポイント

- ①接触面積を増やすため、身体とマットレスの隙間をポジショニングクッションで埋めます。
- ②しっかりと保持できているか確認するため、すき間に手が入るかどうかが確認します。
- ③皮膚の突っ張り感や衣類のしわをなくすため、ポジショニンググローブで圧抜きをします。

※ポジショニングとは「体位変換」+「体位保持」であり、体位を入れ換える除圧のための「体位変換」と体圧分散向上のための「体位保持」は別です。

リモコン操作および機能説明

その他各種設定

⑥ むれ対策



室温と同じ乾いた空気を足元側から送って寝床内の湿った空気を換気することで、寝床内の「むれ」を対策します。断続運転で足元側から送風をします。

※動作中はLEDランプが点灯します。(30分動作・15分停止の断続運転、LEDランプは常時点灯します)
※体を冷やすための冷房機能や温度調整機能ではありません。

【適応】●入浴後で寝床内がむれている。 ●清拭後で寝床内がむれている。

⑦ 標準設定



標準設定

ボタンを押すと【標準設定】のLEDが点灯し、以下の状態になります。

【見守り】見守り状態：起上り 【むれ対策】：OFF
【3D除圧】除圧動作：中 【設定ロック】：OFF
【かたさ】：ふつう

※【設定ロック】以外の各種設定を変更すると、【標準設定】のLEDが消えます。
※工場出荷時は【標準設定】で設定しています。

⑧ 設定ロック(長押し)



設定ロック
(長押し)

認知症の人などによる誤操作を防止するために、リモコンのボタン操作ができないようにロックすることができます。

※ボタンを長押しすると操作ロックの設定・解除ができます。
※LEDランプが点灯しているとロックの状態です。

自動背上げ機能

ベッドが30°以上の背上げ状態になると、自動で背上げモードになります。30°以下になると、背上げモードは解除されます。

背上げモードでは【かたさ】を少しかたくして背抜き(除圧動作)を行い調整します。調整後は元の設定で作動します。

背上げモードが解除されるときも背抜き(除圧動作)を行い調整します。

※背上げモードのON、OFF後5分程度は【お知らせ】が使用できません。
※マットレスが背上げる機能ではありません。

緊急時の対応方法

マットレスがそのままの状態でも心臓マッサージを行うことができます。

リモコンは、見守りボタンを押して【中断】にしてください。

一時的に見守り機能が【OFF】の状態になり、マットレスはケアモードになります(P6を参照)。

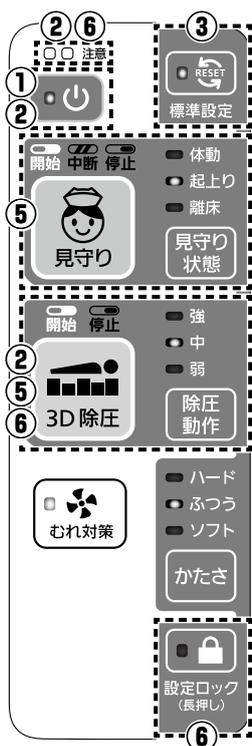
柔らかさが気になる場合は、心肺蘇生用のボードを挿入してください。

セルフチェックモード

簡単な定期点検として、リモコンの所定ボタンを押すと、各部(エアもれ、各種センサーなど)の点検を自動で行います。
(所要時間：約15分)

注意 セルフチェックを行う場合は、ベッド・マットレス共にフラットにし、患者様・入居者様が寝ていない状態で行ってください。

操作方法とチェック内容



①電源を【OFF】にします。

② ボタンを押しながら、 ボタンを押します。

注意のLEDランプが点滅し、セルフチェックモードがスタートします。

③最初にエアポンプのチェックを行います。チェック中は のLEDランプが点灯します。

※③で異常がある場合は、その箇所の表示ボタンのLEDランプが点滅し、そこでセルフチェックは終了となります。

④次にマットレスのエアもれチェックを行います。

⑤エアセルのチェック中は、 の【体動】・ の【弱】・ の【離床】・ の【強】のLEDランプが点灯していきます。

⑥すべてのチェックで異常が無い場合は、 ボタンのLEDランプが点滅し、 注意

ランプが2個と が点灯した状態になります。

※④以降で異常がある場合は、見守り機能でナースコールへお知らせし、異常がある部位の表示ボタンのLEDランプが点滅したまま次の表示へと切り替わります。

⑦セルフチェックを終了または中止する場合は、電源を【OFF】にします。

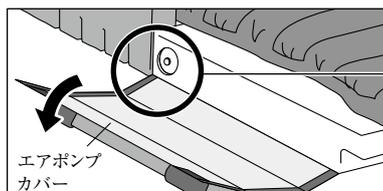
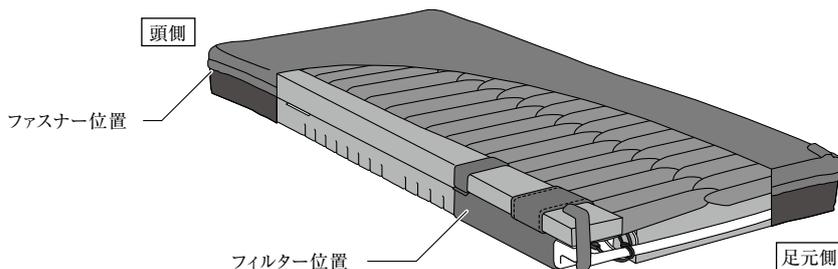
異常時のLEDランプ点滅箇所と不具合の内容

表示ボタン	LEDランプ表示	不具合内容	
標準設定	——	エアポンプまたは圧力センサーなどの異常	
見守り	体動	エアセルR1のエアもれ	
	離床	エアセルR2のエアもれ	
除圧動作	強	エアセルL1のエアもれ	
	弱	エアセルL2のエアもれ	

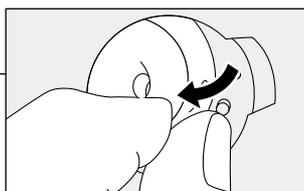
フィルター交換方法

フィルターの交換時期：1年

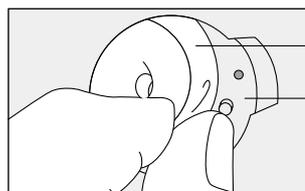
汚れがひどい場合は、新品と交換してください。
汚れが少ない場合は、掃除機やエアガンなどで
汚れを取り除き再使用することができます。



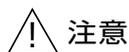
- ① マットカバーを開き、
エアポンプカバーを外します。
※マットカバーのファスナーは、頭側から開き
ます。



- ② フィルターの端をつまみ、
取り外します。



- ③ 新しいフィルターを
フィルター穴に取り付けます。



注意

専用のフィルターを使用してください。1年に1回は、必ず汚れなどのチェックが必要です。
※専用フィルターに関しては販売店にご相談ください。

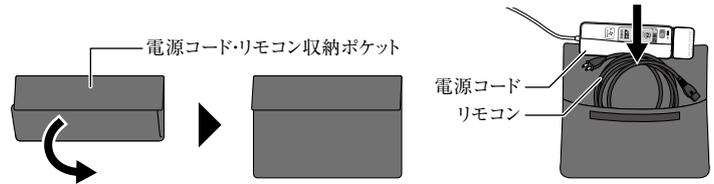
停電時の使用

長時間の停電によりエアセルの空気が抜けてしまっても、フィッティング層+底着き防止層が底着きを防止するため、患者様・入居者様に別の寝具へ移動していただく必要がありません。また停電復旧後には停電前に設定していた条件に戻るため、再設定の必要がありません。

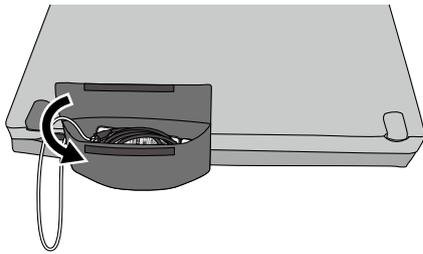
電源コード・リモコンの収納方法(長期間使用しない場合)

①折りたたんでいる電源コード・リモコン収納ポケットを広げてください。

※電源コード・リモコン収納ポケットは、紛失しないためにもマットカバーから取り外さず使用してください。



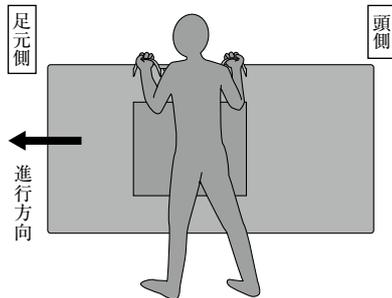
②電源コードとリモコンを電源コード・リモコン収納ポケットにおさめてください。



運搬・保管方法

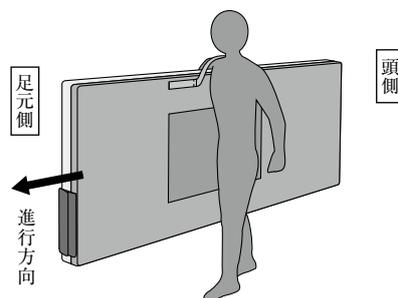
運搬する場合は、下図のように取っ手を持ってください。

一人で運搬する場合



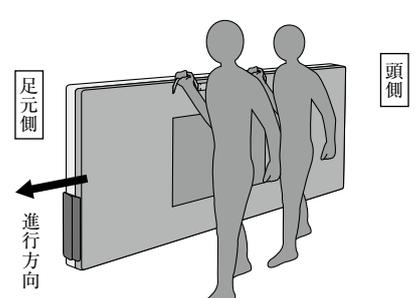
取っ手の外側の輪の部分を持って運搬します。

肩に掛けて運搬する場合



取っ手の真ん中の輪の部分に腕を通して運搬します。

二人で運搬する場合



取っ手の外側の輪の部分を持って運搬します。

注意

運搬程度の短時間であれば、折り曲げても製品への影響はありません。

- ⊗ 内部のエアセルやエアホースの破損につながるおそれがあるので、マットカバーの表側を持って運搬しないでください。
- ⊗ 変形や破損のおそれがあるので、折りたたんだり丸めた状態で保管しないでください。
- ⊗ 変形や破損のおそれがあるので、10台以上積み重ねないでください。
- ⊗ 変形や破損のおそれがあるので、重量物を上に置いたまま保管しないでください。
- ① 材質や色が変化するおそれがあるので、直射日光の当たらない場所で保管してください。
- ① 電源コードとリモコンを収納ポケットにおさめてください。
- ① 変形や破損のおそれがあるので、保管の場合は、衝撃が加わらないよう十分に注意してください。
- ① 電源コード・リモコン収納ポケットがマットカバーに面ファスナーでしっかりとめてあること、および開口部の面ファスナーがとめてありリモコンが出てこないことを確認してください。

注意

浴室付近や湿気の多い場所での使用および保管はしないでください。
※サビ・カビの発生や故障の原因になります。

お手入れ方法

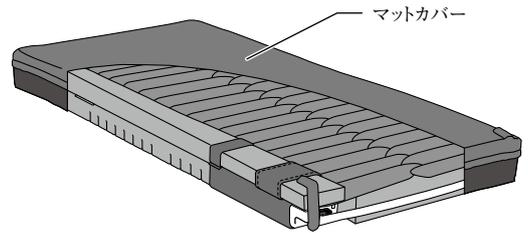
汚れの落としかた

汚れが少ない場合は、マットカバーおよび電源コード・リモコン収納ポケット表面を市販の中性洗剤やアルコールを布に含ませて清拭してください。

汚れがひどい場合は、マットカバー上部または全体および電源コード・リモコン収納ポケットを取り外し、洗濯機などで丸洗い洗浄してください。

洗浄後は乾燥機による乾燥または陰干ししてください。

※マットカバーとエアポンプを取り外してください。



⊗ エアセル・エアポンプ・リモコンなどの内部構成部品は洗浄しないでください。

※ウレタンフォームを洗浄する場合は、事前にお求めの販売店または
㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。

⊗ シナーやベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。

⊗ 酸性洗剤は素材を傷めるおそれがあるので使用しないでください。

⊗ 漂白剤は色落ちや変色の原因になるので使用しないでください。

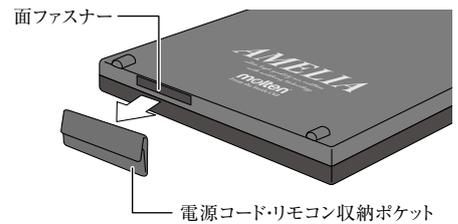
⊗ マットカバーおよび電源コード・リモコン収納ポケットが縮むおそれがあるのでドライクリーニングはしないでください。

⓪ マットカバーおよび電源コード・リモコン収納ポケットを洗濯機で洗う場合は、キズが付くおそれがあるのでネットを使用してください。

⓪ マットカバーおよび電源コード・リモコン収納ポケットを洗浄・乾燥する場合は、縮むおそれがあるので必ず80℃以下で行ってください。

⓪ 塩素系洗剤を使用する場合は、表示の注意事項および濃度を確し希釈して使用してください。

濃度が高い場合は、マットカバーが変色するおそれがありますのでご注意ください。



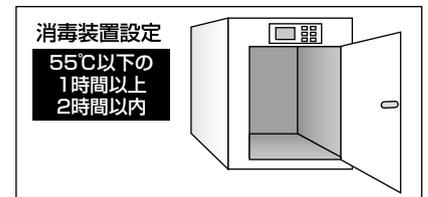
消毒のしかた

消毒薬やアルコールを噴霧または布に染み込ませて清拭してください。

消毒装置を使用する場合は、分解せずそのままの状態でおモテ面を上にして平置きの状態または横向きに立てた状態で曲げずに装置に入れてください。

温度設定は《55℃以下の1時間以上2時間以内》に設定してください。

装置に入れるときは電源プラグを抜き、電源コードとリモコンは収納ポケットにおさめてください。



⊗ マットレスを消毒装置に入れる場合は、変形や破損のおそれがあるので、55℃以上の温度にしないでください。

⊗ マットレスを消毒装置に入れる場合は、サビやカビの発生や故障の原因になるので、蒸気などの水分が残る消毒は行わないでください。

⊗ マットレスをオゾン消毒する場合は、ウレタン層が劣化するおそれがあるので、高濃度(5ppm以上)で長時間の消毒は行わないでください。

お手入れ後の保管

⊗ 変形や破損のおそれがあるので、折りたたんだり丸めた状態で保管しないでください。

⊗ 変形や破損のおそれがあるので、10台以上積み重ねないでください。

⊗ 変形や破損のおそれがあるので、重量物を上に置いたまま保管しないでください。

⓪ 電源コードとリモコンを収納ポケットにおさめてください。

⓪ カビなどが発生するおそれがあるので、汚れを取り除き、よく乾燥させてから保管してください。

⓪ 材質や色に変化するおそれがあるので、直射日光に当たらない場所で保管してください。

⓪ 変形や破損のおそれがあるので、保管の場合は、衝撃が加わらないよう十分に注意してください。

⓪ 電源コード・リモコン収納ポケットがマットカバーに面ファスナーでしっかりとめてあること、および開口部の面ファスナーがとめてありリモコンが出てこないことを確認してください。

このようなときには

現象	確認方法	処置
マットレスがふくらまない 柔らかすぎる 体が沈み込んでしまう	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの電源ボタンを押してください。(P4参照)
	電源プラグのポンプ側が外れていませんか？	電源プラグのポンプ側を差し込んでください。
	エアホースが外れていませんか？	エアポンプおよびエアマットレスをつなぐエアホースを確認し、抜けている場合は、差し直してください。
	エアホースが折れていませんか？	エアホースを交換してください。
	ウレタンフォーム部に内蔵の背上げセンサーを上下反対に設置していませんか？	背上げセンサーを表示通りに合わせて設置してください。
	かたさ設定が【ソフト】になっていませんか？	リモコンでかたさを【ふつう】または【ハード】に設定してください。(P8参照)
マットレスがかたすぎる	ベッドの背上げ角度が30°以上になっていませんか？	ベッドをフラットまたは30°以下にしてください。
	かたさ設定が【ハード】になっていませんか？	かたさを【ふつう】または【ソフト】など、柔らかいモードに設定してください。(P8参照)
エアポンプの音がうるさい	足元側の下にかたい物を置いていませんか？	マットレスの下からかたい物を取り除いてください。
リモコン操作ができない	操作ロックを設定していませんか？	操作ロックを解除してください。(P9参照)
	リモコンのLEDランプが消えていませんか？	電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの電源ボタンを押してください。(P4参照)
寝床内が寒い	むれ設定が【ON】になっていませんか？	むれ設定を【OFF】にしてください。(P9参照)
寝床内が暑い	むれ設定が【OFF】になっていませんか？	むれ設定を【ON】にしてください。(P9参照)
	フレッシュエアダクトのエアホースがカバーの中で外れていませんか？	カバーを開き、中にあるエアホースを接続してください。
	フレッシュエアダクトの上に防水シートなど通気性がない物をかぶせていませんか？	フレッシュエアダクトを避けてかぶせるか、通気性のある物を使用してください。
ナースコールが鳴らない	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	マット内のエアポンプの電源コードの接続が外れていませんか？	エアポンプの電源コードを接続してください。
	見守り機能を【停止】にしたままになっていませんか？	見守り機能を【開始】にしてください。(P6参照)
	見守り機能が【中断】になっていませんか？ (見守り機能が点滅)	見守り機能を【開始】にしてください。 また15分経過すると自動的に【開始】の状態に復帰し、ランプが点灯します。(P6参照)
	見守り機能が準備状態になっていませんか？ (お知らせ機能がゆっくり点滅)	準備状態が解除(見守り機能が点灯)されるまで待ってください。 (P6参照)
	エラー表示になってませんか？ (見守り機能が高速点滅)	㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口へご連絡ください。
	体重の軽い患者様・入居者様が使用されていませんか？	体重が30kg前後の軽い方や動作のゆっくりな方などは、センサーが感知しない場合がありますので、感知することを確認の上、使用してください。感知しない場合は、使用しないでください。
	患者様・入居者様が寝てすぐや お知らせの直後ではありませんか？	圧力調整中はセンサーが感知しない場合があります。 ※マットレスの設置のときや患者様・入居者様が寝たときは、10分程度見守り機能が使用できません。 ※見守り機能は、お知らせすると2分間はセンサーが【OFF】の状態になります。
見守り機能は患者様・入居者様の体重・体形、 動きによってセンサーが感知する・感知しない 場合があります。	設定でのお知らせで鳴らない場合は、感度を高くして見守り状態を選択してください。(P6参照)	

このようなときには

現 象	確認方法	処 置
ナースコールが鳴らない	ナースコールケーブルが接続されていますか？	ナースコールケーブルを接続してください。(P3参照)
	各接続プラグのピンが破損していませんか？	破損しているケーブル・分配器を交換してください。(P3参照)
	センサー範囲の周りに硬い防水シートやクッションなどを設置していませんか？	センサー範囲には硬い防水シートやクッションなどを設置しないでください。
	シーツを「ピン」と張りすぎていませんか？	シーツを張りすぎないように、ゆるめて取り付けてください。
ナースコールが勝手に鳴る	患者様・入居者様がベッドに戻った時に鳴っていませんか？	見守り機能の【中断】を使用してください。(P6参照)
	患者様・入居者様以外の方がベッドの乗り降りをしたり、シーツ交換などをしていませんか？	見守り機能の【中断】を使用してください。(P6参照)
	見守り機能の設定以外の動作をしていませんか？	見守りたい動作を選択してください。 見守り設定にしている場合は、感度が高すぎるため設定を【体動】⇒【起上り】または【起上り】⇒【離床】へ変更してみてください。(P6参照)
	見守り機能は患者様・入居者様の体重・体形、動きによってセンサーが感知する・感知しない場合があります。	設定でのお知らせで鳴りすぎの場合は、感度を低くして見守り状態を選択してください。(P6参照)
	各接続プラグのピンが破損していませんか？	破損しているケーブル・分配器を交換してください。(P3参照)

このようなときには

注意ランプが交互点滅する場合

注意ランプが交互点滅する場合は、エアもれや空気の流れに不具合がある可能性があります。

このようなときには、以下の項目を確認してください。

※リモコン注意ランプが点滅すると、ナースコールにお知らせします。

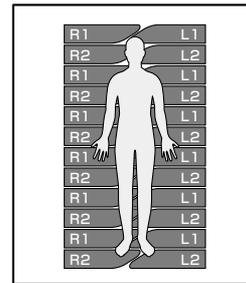
●注意ランプが交互点滅し、かたさ【ソフト】のLEDランプが点滅する場合

確認箇所	現象	処置
エアセル	エアセルの一部から空気もれていませんか？	エアもれしている場合は、(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
	エアセルの途中が変形していませんか？	変形しているエアセルを整えてください。 整えても直らない場合は、(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
エアホース	エアセルやエアポンプのエアホースに抜けがありませんか？	エアホースについては色に合わせて差し込んでください。 エアホースが抜けやすい場合は、交換してください。
エアポンプのフィルター	フィルターが目詰まりしていませんか？	フィルターを交換してください。(P11参照)
エアポンプ	エアポンプの中から空気もれる音が1分以上聞こえますか？	エアポンプの内部に問題がある場合は、(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。



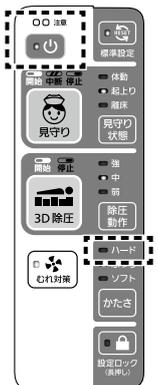
※上記点滅に加え、以下のLEDランプが点滅する場合は、該当エアセルを確認してください。

- ・見守り【体動】⇒エアセルR1
- ・見守り【離床】⇒エアセルR2
- ・除圧動作【強】⇒エアセルL1
- ・除圧動作【弱】⇒エアセルL2



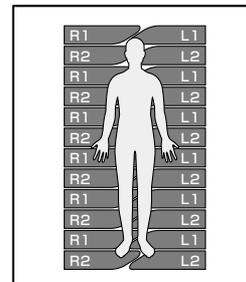
●注意ランプが交互点滅し、かたさ【ハード】のLEDランプが点滅する場合

確認箇所	現象	処置
エアセル	エアセルの途中が変形していませんか？	変形しているエアセルを整えてください。 整えても直らない場合は、(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
エアホース	エアホースが折れ曲がっていませんか？	折れ曲がっている場合は、(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
エアポンプのフィルター	フィルターが目詰まりしていませんか？	フィルターを交換してください。(P11参照)



※上記点滅に加え、以下のLEDランプが点滅する場合は、該当エアセルを確認してください。

- ・見守り【体動】⇒エアセルR1
- ・見守り【離床】⇒エアセルR2
- ・除圧動作【強】⇒エアセルL1
- ・除圧動作【弱】⇒エアセルL2



冬季などに室温が低い場合は、エアポンプの空気流量・圧力が低くなり注意ランプが作動することがありますが、これは内蔵ポンプのゴム部品がひえたために発生する現象で故障ではありません。

電源ボタンを再度入れ直し10分以上動作させてください。

このようなときには

注意ランプが同時点滅する場合

注意ランプが同時点滅する場合は、センサーなどの通信に不具合がある可能性があります。

一度電源プラグをコンセントからはずして、差し直してください。それでも直らない場合は、(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口まで修理に出してください。

※リモコン注意ランプが点滅すると、ナースコールにお知らせします。

LEDランプの状態	不具合内容	マットレスの動作
注意ランプ+かたさ【ふつう】+見守り【体動】が同時点滅	リモコンの通信の異常	標準設定で作動します。
注意ランプ+かたさ【ふつう】+見守り【起上り】が同時点滅	背上げセンサーの異常	設定通りに作動します。

上記の処置で直らなかった場合、またはその他の現象の場合は、
(株)モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口までご相談ください。

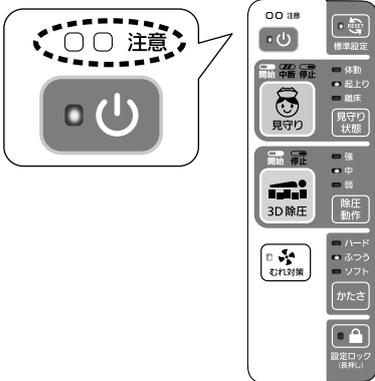
株式会社 モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口
TEL(082)578-9226

〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日／9:00～17:00 ※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く

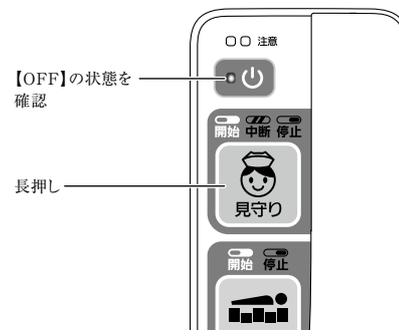
点検チェックシート

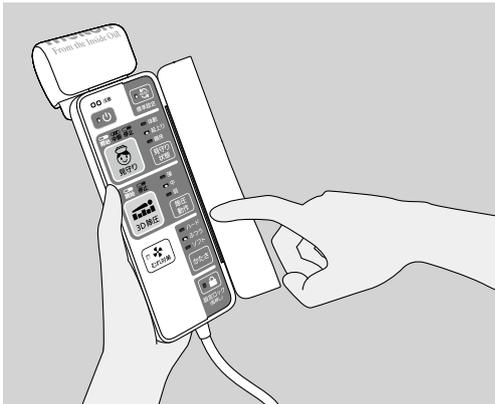
●モニタリングの場合などに行う点検要領

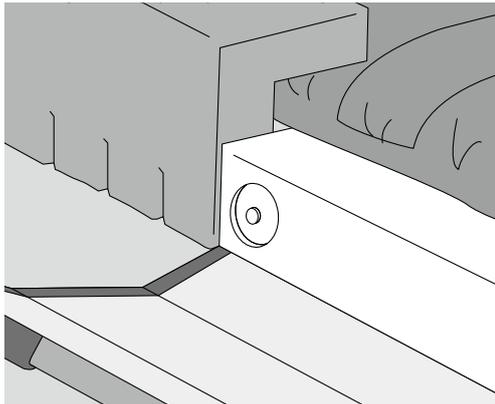
1.動作の点検

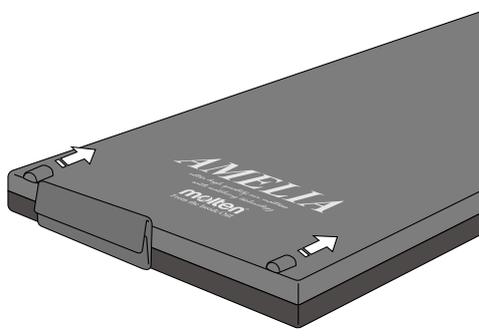
注意ランプの動作		結果
1		異常あり
		異常なし
<p>注意ランプが点滅していないことを確認します。</p>		

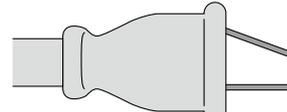
2.本体各部の点検

ナースコールの確認		結果
4		異常あり
		異常なし
<p>マットレスのリモコンの電源を【OFF】の状態で見守りボタンを長押しします。ナースコールがお知らせするのを確認してください。</p>		

リモコンの動作		結果
2		異常あり
		異常なし
<p>リモコン各部の動作、ボタンの異常などを点検します。異常ありの場合は、修理に出してください。</p>		

フィルターの汚れ		結果
5		異常あり
		異常なし
<p>フィルター取付部のフィルター汚れを点検します。汚れがあれば清掃または交換します。</p>		

むれ対策の動作		結果
3		異常あり
		異常なし
<p>【むれ設定】にして、足元側のエアダクトから空気が出てくるか確認します。</p>		

リモコンコードと電源コード		結果
6		異常あり
		異常なし
<p>コードやプラグに変形や折れなどの破損がないか点検します。異常ありの場合は、電源コードを交換してください。</p>		

※エアホース外れがないか点検してください。

アメリカ【ハイブリッドタイプ】仕様

種別	見守り機能／リプレースメントタイプ(ベースマットレス不要)、圧切換型／静止型		
品番	MELA83	MELA91	
一般的名称	見守り機能付き高機能エアマットレス		
サイズ [cm]	幅	83	
	長さ	193	
	厚さ	14	
重量 [kg]	10.0	11.0	
素材	アウターカバー部	ウレタン合皮(制菌加工)	
	マットカバー部	マイクロエアセル=ウレタンフィルム／フィッティング層・底着き防止層=高耐久ウレタンフォーム	
見守り部仕様	●電力：AC100V 50/60Hz 13W ●圧切替時間：約10分 ●電気代目安：約2.4円/日(むれ対策:なし／マット除圧動作：強／見守り機能：開始)		

●記載されている製品の仕様、外観は改良のため許可なく変更することがありますのでご了承ください。

開発・製造元 ISO9001 認証取得 ISO13485 認証取得 <small>※床ずれ防止マットレス・体動センサの設計、 製造および付帯サービスにて取得</small> 本製品の取扱説明書は下記QRコード からダウンロードいただけます。  取扱説明書	株式会社 モルテン 健康用品事業本部 www.molten.co.jp/health 札幌 東京 仙台 埼玉 名古屋 大阪 広島 福岡 <small>製品他、各種お問い合わせは</small> 〒733-0036 広島市西区観音新町四丁目10-97-21 TEL.082-578-9226 E-mail:health@molten.co.jp <電話による受付時間>月曜日～金曜日/9:00～17:00 <small>※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く</small>
--	--